

6つのノヴェレッテ —淡く、深く—
6 Novelettes —Softly and Deeply—
プログラムノート

MONET marimba duoから新曲委嘱のお話をいただき、構想を練りながらお二人の名前の由来でもある印象派の画家、クロード・モネの作品を改めて見直してみました。草花や海の香り、あたたかな風、降りそそぐ陽射しのきらめきなどを感じとることができました。そんな“空気をまとった絵画”のような音楽を作りたいと思い五線に向かいました。

作曲において心がけたことは、マリンバの親しみある可愛らしい音や、木が持つ自然で豊かな響きを生かすこと。そして、息の合ったアンサンブルで2台のマリンバがあたかも一つの楽器として聴こえるようにすることでした。

モネの作品を直接イメージしたわけではなく、その色合いやタッチからインスピレーションを受け、私が想像した情景を6つの小品としました。楽曲を聴きながら自由に想像を膨らませ、情景を思い描きながらお楽しみください。

どこかで見たことがあるようで見たことがないような景色…

1. 小舟 *Shallow Waters*

ゆらゆら揺れる水面。浅瀬に小さなボートが浮かんでいる。

2. 紫陽花色の空に *Blue Moment*

本コンサートのフライヤーの色にインスパイアされ生まれた曲。淡く、柔らかな優しい色合いの空。

3. 矢のように *Catch the Wind*

金色のたてがみがなびき、風を切って走る馬。矢のように。

4. 小さなワルツ *Little Waltz*

湖のほとりで、妖精たちが人知れず楽しく踊っている。

5. 月の浜辺で *Bay of Love*

月にある浜辺を歩きながら過ぎ去った恋に思いをめぐらす。

6. 光のパイプオルガン *Angel's Stairway*

天から降りそそぐ光。そこに祈りのうたが聞こえる。

※雲間から太陽の光がこぼれ、光線が見えることを天使の階段（天使の梯子）と言うが、宮沢賢治はそれを“光でできたパイプオルガン”と名付けた。その美しい言葉に触れて生まれた曲。

最後に、演奏会の機会が減ってしまったこうした状況のなか、委嘱の機会をくださり演奏してくれるMONETのお二人、コンサートの安全な開催に尽力してくださっている関係者の皆様、そして本日足をお運びくださり初演を見守ってくださっているご来場の皆様に感謝申し上げます。